

あまでうす

『今年は1月から...』

去年の年末から急に慌ただしくなった。というのは、12月に地元、岐阜信用金庫へ用事があつて行ったとき、受付の女性に、多種多様な趣味を持っていく人達の展示会を店内で開催している事は知っていたので、(実は4年前に1度、写真とオリジナル時計を合わせて16点ほどこの時に展示している) 徐々に聞いてみた。

「来年の3月以降、展示予定で空きがあるかどうかを店長に聞いておいてもらえませんか」と依頼を

しておいた。なぜ3月以降かというと、2月の中旬に毎年、シニア文化祭が開催され、その一環としてシニア作品展が行われる。そこに毎回3点ほど出品しているが、その展示会に出す作品をもう決めていたため、バツデイングすると困るからである。(ちなみにも去年は、掛軸、写真、オリジナル掛時計の3点を展示した)

3日後、信金の店長からは是非お願いしたいと電話が掛かってきた。「展示に付いて一度打ち合わせをしたいから、都合のいい日にご来店ください」と言われてさっそく飛んでいっ

た。打ち合わせを色々としていく中、1月中旬から2月中旬までの一ヶ月間、オリジナル掛時計、書、掛軸の8点を展示することになった。話のところがある。話を進めていると店長が、「2月から3月に予定していた人が駄目になりそうなので、もう一ヶ月展示をお願いできませんか」ということになり、間髪を入れず引き受けた。そこでまた次の展示会の打ち合わせをし、前後半と2回に分けて、作品を総入れ替えをして展示する方向で決まった。

前半は、『和』をテーマに掛軸2点、書1点、オリジナル

掛時計5点の計8作品を展示。後半は、『和洋折衷』という感じで、オリジナル掛時計と写真の計8点を展示する予定でいる。

2月のシニア展の話になるが、広報で18日から5日間、いつもの中央図書館3階で展示することが分かり、1月6日に市役所の福祉課へ出掛け、申し込みをしてきました。今年、書、掛軸、オリジナル掛時計の3点を展示する予定で、毎年のことと慣れているとはいえ、例によって作品を何点どうレイアウトし展示するかを図で書き、

作品それぞれの寸法も書かなければならず、正直めんどくさい。他にも、3月末までという期限のある、関にある刀の伝承館の招待券と明治村招待券2枚があり、機会をみて訪ねる予定でいる。今年もこうして人生のページを刻んでいくことになる。

風地蔵新聞

冬の風物詩

大橋 美紀

寒くなってきた。多くの家庭でおでんが食卓に上がる。11月中旬頃から夕食におでんがメニューに加わってきます。10月末、私の誕生日に何年か前から社長が必ず九州の茅乃舎の「あごだし」、そして他にも「しいたけだし」や「野菜だし」など誕生日プレゼントに九州から届きます。私にとつて1番嬉しいおでんが届くと、おでんのお節がもうすぐだと。あごだしでつくっておでんが楽しみになる

てきます。我が家は具は、これといって変りばえなく、必ず入れるのはもちろんだ根、5センチぐらいの暑さを隠し包丁を取りをします。そして次は、その玉子です。私は、その玉子に、かつ一緒に食べるのが大好きです。以前は、ずつと普通の四角のこんにやくをカットして具に入れていました。今は、結び糸こんにやくには、まみこんにやくは、あごだしで、あごだしは、練り物のはんぺんやがんとどき、厚揚げなど作る時々

で変わってきました。茅乃舎のだしは、すごいでしょ。もちろは「あごだし」。あれは魔法のだし。甘味や塩味が絶妙で必ず美味しくなります。私は、おでんを作るならあごだしに限ります。とまで思っています。地方ではどんなおでんのか気になりました。と調べてみました。北海道エリアは、ふき、わらび、山菜、つぼ貝、ほたて、貝類を入れるのが特徴だそう。おでんの屋さんでは、タラの店もあるそうです。よ。関東エリアは、やっぱりちくわぶです。ね。小麦粉に塩と水

第196号
題字 岩瀬桃谷
発行 編集
風地蔵
白石 美帆
〒503-0922
岐阜県大垣市
馬場町85
ご感想・エッセイ・お便りなど
7月・俳句・短歌
お待ち
ま

を加えてこねて棒状にしたのがちくわぶだ。知っているが、ちくわぶは、小麦粉だとは知らなかった。ア、私たちが中部エリアには、静岡の方には、黒はんぺん、なると、巻、豚もつなど、そして、少し違うな、と思うのが、いわしや、かつおの粉と青のりをかけて食べる。一番の特徴は、すよね。どんな味があるのかと、昔、名屋は、八丁味噌のおでんです。昔は、味噌が、今、作ったので、又作ってみようかな。腐類、京野菜、ぎんなんなどが入ると、ろや、生しようゆだれを付けて食べる。路風おでんもある。うです。

中国・四国エリアでは、貝につぶ貝や春菊が入るところや、かまぼこやじゃこ天を入るところもある。九州・沖縄エリア、博多では餃子を魚のすり身で巻いてあげた「餃子巻」。鹿兒島は、豚肉と麦味噌で作る汁が特徴。だしをいれる。大豆もや。沖繩もおでんがある。沖繩も、豚足が入り、コクのある味。付けだそう。豚は、足か、沖繩なら、は、です。よね。まだ、まだ、他にも、地方の味や具があります。改めて調べてみると、具によって同じ汁でも味が変わります。まだ、これから寒さも厳しくなりますので、おでん作りも楽しくなりそうです。

やっぱり家族っていいな！のはずが・

佐藤 李恩

1月7日久留米大善寺で日本三大火祭り「鬼夜」がある。はじめは行く気しなく、じいといとばあとらんちゃんで行く予定だったけれど、会社施設の施設長が「私は毎年行きよるよ！絶対見たがいい！！」と何回も聞かされ、何回もメールでも言ってくるから「やっぱいいこうかな」とばかり伝えみんなで行く事になった。結局その日は雨で、風が強かったから毎年行っていた施設長は行かなかったらしい(笑)
その日は、凱翔は休みで、じいと私だけ仕事。一緒に電車に乗れるように待ち合わせ。電車を待っている」と凱翔から「大善寺行きの普通電車ね！」と何回も行ってくる。そんな行わんだって分かる(笑)そして先に乗ってきた皆の顔が見えた。窓越しかららんちゃんがニコニコ。ママも電車に乗り込み合流。駅から鬼夜がある場所まで10分しないところ、さつそく屋台！！唐揚げ食べて、たこ焼き食べて、作ってきてくれたおにぎりを食べて。その横の道路で「おいさ！おいさ！」とふんどし姿の年配の方から小さい子どもまで火をもつて歩いて行く。その後を追うかのように、真っ先にばあがついていき、そのあとをみんな追った。見所はまだまだ先で、二時間ばつかしベンチで待つ。そろそろ

かなの時に移動したが、真つ暗になつてもまったく始まらない。21時半頃、一番の見所大木に火がつく。一瞬で火の粉がすごい勢いで飛んで、前にいたおぼさんの髪の毛が燃えている。「ママ！！ママの髪の毛も！！」とパパ。「ひえ〜」と言いながら急いで後ろに避難。地元の人たちは慣れているのか、それが楽しみ

なにか落ちついていない。一番の見所も見えて又駅に向かう。駅にお母さんの絵手紙の知り合いの方がいて、あいさつしてをさっさと通ろうとするお母さん「ねえ、切符買うお金ちょうだい」というと「いまごろ！？」と。「しょうがないやん！ないんやけん！」と。

我が家は、お母さん以外、皆月六千円のお小遣い制でいるもの。お父さんだけが少し高い。盆と正月のボーナス時期は、更にお父さんは高い。改札通ったあと「あ、りえんやろ！挨拶しよるとに。あんたの職場の人に会ったら同じ態度とってやるけん。覚えとけよ」と。
「あ？カツチーン。後々きくと、雨が降り出したから早く皆を連れて帰りたいの、切符買うって聞きたいと聞こえたらいい。
その時は、怒っているから一緒に電車で帰らず次の電車です。
駅に一人していると更に腹が立つてくる。凱翔も先に帰るし、女ひとりで普通おらせる！？だーれもメールもしてこんし。大丈夫？の一言もない。
次の電車にのる。どんだん腹が立ってくる。うちの誕生日なのに！！りおんは、生日の日は喧嘩もせんとし、色々するの何でうちはこんな目

にあわなんとよと考えるだけでイライラ。もうすぐ家の駅に着くって時にお母さんからメールが届く「ごめんね」やってきました。と思いなながら気がついてないふりをする。
駅に着き、改札を通ろうとするポツンとお母さんの姿が見えた。
あ、お母さん。と思いなながら怒ってるふりをつづける。でも、実は嬉しかった。駅から家まで歩いて帰る。一言も話さないけどまだ自分が子供でいれるって思えた。家に着くとかいとおかえりーと言って無視。そしたら一言声をかけてきた「まだ怒つとんの？」です。
「あ？と思いなながらかいとを見る。「先に帰ってまってごめんね」と。
そうやる！逆よ逆！なんで怒つとんの？からやないよね！と笑いと怒り。
そして、誕生日プレゼントだと手紙をくれた。怒ってるからフンとしながら読ん

だ。かいは、優しいなーと思いなながら。
ありがとうありがとうありがとうばっか、その次は、ごめんねごめんねごめんねばかり。
なんこれ！？うちが悪者みたいやん！書き直してよ。
1月8日、昨日は祭りに行ってたから、今日誕生日会をする。
りおんの好物、ちくわサラダ！今夜はちくわサラダ！！嬉しくてしようがない！

寝てみて、次の朝一応足元見るけど何も無い。結局何も無かった。でも私の場合黙ってられる性格ではないから皆に話をした。大笑いされるし、かいは、サントジャないんやけん。美ふん。いいもん。美味しいちくわサラダとケーキ食べれたから！！
そして、1月13日凱翔は成人を迎えた。まだ20歳！？と言われるが、りおんからしたらもう20歳！？だ。

会社の施設長が「何作ってもらおうと？」と聞かれ「ちくわサラダですよ！」という、「いいねー！りおんちゃんはお母さんに言うとお母さんがよ！手間がかかるったい！」と。
たしかに。ポテトサラダつくって竹輪に詰めて、揚げた。だから美味しいよ。
ケーキも買って用意してくれていた。きつと誕生日プレゼントいいよって言ったけどりおんはみんなの誕生日にお小遣いからちよこつとしたものだけど買ってるからみんなもあるんだろうなと思いなながらクワク。
お父さんも帰ってくと何か隠してる感じ。
みんな優しいな！嬉しいな。と1人ニヤニヤ。
貰ったら何て言おう。と考える。
ご飯食べて、ケーキ食べて、お風呂も入るけど全く出てこない。

出会ったのは、16歳だったもんねー。色んな事があって、たつくさん乗り越えてきたよね。でもそれは2人で乗り越えたんじゃなくって、お父さんやお母さんの支えが大きくて、マンシヨンの隣のお姉ちゃんも真剣に話をしてくれたり、会社だつていっぱい支えてくれて、遠くに橋さんも支えてくれたよ。
沢山の人が支えられて今、20歳を迎え凱翔は何を思うんだろう。
りおんが20歳の頃は、まだ未熟で親に迷惑ばかりかけてきたな。
今年は3人目も生まれ、更に頑張らなきゃいけないけどさすがうちのパパやなど誇りに思います。まだまだ知らんことも多くて、失敗も多いいけど家族の為に、みんなの為に又今日も1日頑張る凱翔です。
成人おめでとう！！これからも共に頑張ろうね！

鬼夜の晩の
ラブレター

佐藤 凱翔

2019年も終わ
り新しい1年の始ま
り。1月7日。久留米
大善寺にある、玉垂
宮で「日本三大火祭
り、鬼夜」がある。
パパは、たまたま仕
事が休みになった。
ママ、じいちゃん
の仕事。行事が始まる
のは19時半。朝か
ら、らんちゃんあお
ちゃんを保育園に送
りちよつと家の掃除。
段ボールや紙などの
資源ゴミを集め、小
郡子ども劇場の事務
所に持って行く。今
まで紙の分別はして
なかったが、最近始
めた。紙は結構多い。
普段生活していく中
であれもこれも紙。
年明け前にまとめた
紙と今回まとめた分
をあわせてお米30キ
ロが入っていた紙の
ふくろ2つ。紙は
いっぱい。分別は大
事。そうこうしてい
る間に昼。らんちゃ
んあおちゃんを夜に
そなえ早めに迎える
行こう。パパが行く
事減多にないからド
キドキ。お昼寝の準
備の時間だったらん
ちゃん。パジャマに
着替え布団を敷いて
る。敷いた布団の上
でジャンプし何か踊っ
ている子がいた。そ
うらんちゃんだ。パ
パと目が合った。
「えっ？」と驚いた
顔をしてすぐニコニ
コしだした。友達の
みんなに「バイバ
ー」とタッチをして
あおちゃん部屋に。
ゴロンとしていたあ
おちゃんを見つけた。
「あおちゃんもらん
んと同じく驚きニコ
ニコする。あおちゃ
んの方は寝てる子が
多く別の部屋であお
ちゃんお帰りの準備。
先生とちよつとお話。

「最近どんなですか？」
ときく。「あおちゃ
んはねとにかく絵本
が大好きなの。次か
ら次にずつと持って
くる。そして自分ア
ピールが上手、先生
のひざに他の子が座っ
たり、抱っこしても
らったりする。違う
遊びをしていても飛
んでいき。あおちゃ
んの！と来るとよ。
いいことよ！」と。
なかなか保育園に迎
えに行けないから
い話を聞けた。
「さあ帰ろう！くつ
はいてー」靴箱に並
ぶ靴。らんちゃん
これ！あおちゃん
どれ？沢山ならぶア
ンパンマンの靴を見
て「これあおちゃん
持ったあおちゃん
の日の靴はアンパン
マンではなかったあ
おちゃん。「こつち
だよ」というとおこ
ちがう。「ちがう
た。そこへ先生登場。
「ちよつと待ってね。
いいのあるよ」とは
しつていった。戻っ
てきた先生の手に
アンパンマンのカレ
ンダー。らんちゃん
のぶんが泣く事
ちやんが泣く事
え2つくれた先生。
ヒーローみたいた
ニコニコの2人を車
に乗せ帰宅。鬼夜に
備えお昼寝。じい
んの帰りを待ち電車
で出発。途中花畑駅
でママも乗ってくる。
乗る電車を間違えな
いよう何度も「普通
電車の大善寺行きや
けんね」とラインし
た。釘を刺すように
何度も。ちゃんと同
じ電車に乗れたママ。
「お疲れ様。よく乗
れたね」雨が降る前
もあつて暖かい日だ
た。「おいさおいさ」
とふんどし姿の男達
が火を持ち歩く。6
組それぞれを6

庭師になる人。

ウチにも、毎年出たり入ったり、いろいろな人がやってくる。
去年入ったのは24歳女性。今時の若者。
付けまつ毛ばっちり、爪も長く絵が描いてあり、茶髪。
おじさんばかりの職場で毎日奮闘中。

「週に3日働きたいです！4日は休みたいです！」36歳独身。
キャンプ行ったり、自分の好きなことに時間を使い、とにかく自由。
若い時から海外を回っていた。仕事はできる。土日に主にバイトに来てくれる。

元公務員もいれば、やんちゃで中卒もいる。
70歳でウチの門を叩いたり、引きこもりだったり、奥様だったり、
大学院出て一流企業を辞めて庭師になったりもする。サーファーも高校野球球児も。
大阪からも京都からも弟子入り志願。知らなかったが指名手配犯も。

まあ、とにかく、いろいろ。驚かない。

最近自分から出た名言？
「庭師はなるものではない、たどり着くものだ」

庭師 奥田良樹

六本の巨大火を
松に19時半頃一
る。19時半頃一
目を終えた火をワ
に汗が燃やす。冬
の横並びに6つ。
真冬のサウナ。酒
みんなで回し飲み
士気を高め2週目
行った。20時の事
大松に火が付くま
あと一時間。ちよ
とゆつくりイスに
てまとうか。21時
頃、会場すべての灯
り、火が消えた。ま
響く。鐘の音が鳴
がる。一瞬の事だ
た風向きが変わり
火の粉が真下に
こつちに向かっ
ワ人となつた。周
の粉がチリチリに
がっ！とみんちな
していたあおちゃん

は。フードかぶさ
ドつき悪い気が消
んつた、ママはこ
去つた。ママはこ
で無事赤ちゃん産
るだらう。ママは
月7日のこの日は
才の誕生日。うま
かけるとママへ書
よう。ママへ書いて
めでもう。ママは
く「もうおばさん
るやん」と言っ
るけどまったくお
さんじゃないよ。マ
マは普通にママだよ。
余裕でママだよ。マ
マはいつも夜ケイ
イの動画をみてる
頭がコクンコクン
パパが話しかけて
「うん」としか言
ないまま。たまには
遊んでよ。たまには
事の話をしていて

マ。良い事、キツ
事なくね。どんな
くれるも辞めない
けない力を持って
マはすごい！「た
さんはねえ。毎日
言うたら毎日、
おもしろい話をし
がら、たたく人の
の名前を出す。け
どいまだにダレが
用者さんでスタツ
さん。今度紙芝居
せん。今度紙芝居
でもして教えてね。
いろいろケンカす
けれどこれから仲
直りしようね。あ
日曜日ママが飯作
る。当日の日にね。
パが一番好きなの
オムライスね。もう
一度オムライスね。
おねがいます。